

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成29年度)

[ver.2]

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 1310032

所在地 東京都墨田区東向島六丁目37番4号

評価機関名 一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート

認証評価機関番号

機構 03 - 091

電話番号 03-6657-4511

代表者氏名 代表理事 小池一步

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①		経営	H0701042
	②		福祉	H1001044
	③		経営	H0305066
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	株式会社学研ココファン・ナーサリー ココファン・ナーサリー大崎			
事業所連絡先	〒	141-0032		
	所在地	東京都品川区大崎3丁目6番32号		
	TEL	03-5436-8231		
事業所代表者氏名	園長 白神 宏子			
契約日	2017 年 6 月 21 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2017 年 9 月 15 日			
利用者調査結果報告日	2017 年 10 月 26 日			
自己評価の調査票配付日	2017 年 6 月 21 日			
自己評価結果報告日	2017 年 10 月 26 日			
訪問調査日	2017 年 11 月 20 日			
評価合議日	2017 年 12 月 6 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	1. 利用者調査は、保護者78人(世帯)に対しアンケート方式により実施し、評価機関が用意した封筒により郵送してもらい、61人(世帯、83%)から回答が寄せられました。 2. 事業評価に当り、経営層及び職員に対し、「第三者評価ハンドブック」を使って事業評価の目的、手順、回答シートの記入要領などを説明しました。 3. 訪問調査は、11月20日(月)に行い、聞き取り調査と併せて、延長保育と食事の場面を含む保育状況全般を観察しました。 4. 評価者はいずれも評価対象事業所とは事業上の関係を有せず第三者性の確保を図りました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>学研ココファングループ企業理念 「すべての人が心ゆたかに生きることを願い、今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します。」</p> <p>学研ココファンナーサリーの取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの養育と教育を両輪とした、子ども主体の心と体の育ちの支援 2. 子どもの認知・発達に応じた個別の発達支援 3. 地域社会の全ての子育て家庭に対する、様々な取り組みによる育児支援 <p>保育方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもが本来持っている「育ちのちから」を信じます。 2. 子どもの主体的な活動を援助し、子どもの発達を促します。 3. 養育（養護）と教育の一体化を実践し、家庭と連携します。 <p>保育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な生活習慣が確立した子 2. 心も体も自立した子 3. 自律した行動がとれる子 4. 他人に対する思いやり、援助ができる子
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>（1）職員に求めている人材像や役割</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーション能力の高い人材 <ul style="list-style-type: none"> ・ココファングループが提供するサービスは個人が単独で提供していくものでなく、職員が協力しながら提供していくもののため、相手の意見に耳を傾け、聴く力と理解する姿勢、また、自分の考え・意見を相手に分かりやすく伝える工夫ができる力がが必要です。 2. 成功・達成させる信念をもっている人材 <ul style="list-style-type: none"> ・ココファングループでは、企業理念・ビジョンの実現に向けて、仕事の成功・達成を求めています。職員一人ひとりが成功・達成に向けての信念を持ち、自分はどう行動するべきか、他の職員とどう協力していくべきかを考えて実行し、将来を予測しながら柔軟な発想で仕事が進められる人材を求めています。 3. 責任感のある人材 <ul style="list-style-type: none"> ・ココファングループでは、社員一人ひとりの職務・ステージに応じて「期待する役割」を設定しています。一人ひとりが役割を果たすことで、スキルアップ・キャリアアップが図られ、理念・ビジョンの達成に繋がるという考えに基づいた人事評価制度を取り入れています。自らの役割を理解し、責任感をもって仕事を完結できる人材には、経験・キャリアを問わず、様々なステージが用意されています。 <p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもが好きで、子どものことを一番に考えられる保育者であって欲しい。 <ul style="list-style-type: none"> ・大好きな子どものことを思い、共に成長や自立を願い考え、全力で子どもと向き合って保育にあたる保育者であって欲しい。 ・子どもの成長・発達に合わせた保育内容、計画をたて、無理なく対応できる保育者であって欲しい。 ○職員同士思いやり、助け合える関係を築いて欲しい。 <ul style="list-style-type: none"> ・保育は1人ではできないので、相手のことを考え、自分がどうすれば他の職員が動きやすいか、働きやすいかを考えられる人になって欲しい。 ・経験年数に関係なく、思った事を言い合える、相談や質問がしやすい関係であって欲しい。 ○「これは誰にも負けない」と自信を持って言える得意なことを1つは持って欲しい。 <ul style="list-style-type: none"> ・自信を持って出来ることを持つことで更なる向上心を持って保育にあたり、子ども達にその楽しさを伝えて欲しい。 ○仕事の効率化を図り、仕事だけでなく全てのことで前向きに素直な人であって欲しい。 <ul style="list-style-type: none"> ・どうすればみんなが働きやすくなるか考え行動し、何に対しても逃げずに前向きに取り組める人であって欲しい。 ・ごまかさず嘘をつかず真摯な姿勢で保育にあたって欲しい。

[ver.2]

調査対象

2017年9月現在の利用者総数(子ども)89人の保護者78世帯を対象に実施し、63人(世帯)から回答が寄せられました(回答者割合81%)。

調査方法

保育園から保護者に対し第三者評価の目的について説明され、保護者へ利用者調査票(保護者用)と評価機関作成の説明書を配布、記入後評価機関へ直接郵送してもらい、9月29日に締切ました。

利用者総数	89
利用者家族総数(世帯)	78
共通評価項目による調査対象者数	78
共通評価項目による調査の有効回答者数	63
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	80.8

利用者調査全体のコメント

回答者の総合満足度は、「大変満足」が25人(40%)、「満足」が29人(46%)、合わせると86%となりました。
 個別の質問項目(共通評価項目)では、問1「保育園での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」に対して「はい」が61人(97%)、問2「保育園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」に対して「はい」が60人(95%)、さらに問3「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」及び問10「職員の接遇、態度は適切か」に対して「はい」がともに58人(92%)で、非常に多くの保護者が保育園の活動に満足していることがうかがえます。
 他方、問17「外部の相談窓口人(役所や第三者委員など)にも相談できることを伝えられているか」に対して「はい」が19人(31%、非該当の22人を除くと46%)と、少ない結果でした。
 保育園に対する意見・要望には、「子の成長・年齢に合わせて子に求めることも変わり、時には厳しく接していただけるのはありがたいです。」や「毎日どのように過ごしたのかを、もう少し写真やブログなどで、頻度高く報告してほしい。」など多数の記述が見られました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	61	2	0	0
回答は、「はい」が61人(97%)と非常に多く、「どちらともいえない」が2人(3%)でした。自由意見には、「個人と向き合って頂き、成長段階に応じた対応を頂いている。集団生活をする中で社会性が身に付いてきていると思う。言葉の発達や体の発育でも目を見張るものがあると日々感じる。」などのほか、「特徴ある子供の発達のための保育方針などが見られない。」という記述がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	60	2	1	0
回答は、「はい」が60人(95%)と非常に多く、「どちらともいえない」が2人(3%)、「いいえ」が1人でした。自由意見には、「制作はなかなか家では出来ない事も多いので、楽しくやっているようです。季節行事など。」などのほか、「活動がワンパターンです、テーマ性が見られません。園庭が無いので、体を使った遊びが不足している。」という記述がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	58	5	0	0
回答は、「はい」が58人(92%)と非常に多く、「どちらともいえない」が5人(8%)でした。自由意見には、「家でなかなか食べない野菜を根気よく、最後まで食べさせて頂き感謝しています。離乳食から幼児食への移行期はすごく気を遣ってもらい、ありがたかったです。具合が悪い時はメニューを配慮してくれたり、工夫はしてもらっていると思う。」などのほか、「毎日小麦・砂糖を提供するのはどうかと思います。市販のお菓子がおやつに出ているのは、気になります。」という記述がありました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	47	12	4	0
<p>回答は、「はい」が47人(75%)、「どちらともいえない」が12人(19%)、「いいえ」が4人(6%)でした。自由意見には、「園庭がない分、しっかり散歩をしてくれています。散歩など、店でのルールや外での過ごし方を教えて頂いています。」などのほか、「基本的には満足していますが、自然に触れる機会が少ないとは感じています。もっと戸外遊びをさせてほしい。」という記述がありました。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	51	1	0	11
<p>回答は、「はい」が51人(81%)と多く、「どちらともいえない」が1人、非該当が11人(18%)でした。自由意見には、「当日、直前でも快く対応していただけてとても助かります。ギリギリでも嫌な顔一つせず延長を引き受けて頂き助かってい」ます。土曜保育も急でも嫌味なく受け入れて頂き助かります。勤務で大幅な残業があった際、事前に相談し、対応して下さいました。」などの記述がありました。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	40	20	3	0
<p>回答は、「はい」が40人(64%)、「どちらともいえない」が20人(32%)、「いいえ」が3人(5%)でした。自由意見には、「外を歩く時のルールなどきちんと子どもに教育していると思う。年に1度くらいケガする。ドアに何度か指をはさんだ。」などのほか、職員の数、床の掃除や階段のゲートの故障について記述がありました。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	42	17	4	0
<p>回答は、「はい」が42人(67%)、「どちらともいえない」が17人(27%)、「いいえ」が4人(6%)でした。自由意見には、「運動会の日程は問題ありませんが保護者会の日程は平日なので困ります。平日の行事に一度参加できなかった。」という記述がありました。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	46	16	0	1
<p>回答は、「はい」が46人(73%)、「どちらともいえない」が16人(25%)、非該当が1人でした。自由意見には、「声をかければすぐ相談に乗って頂けるので先生方には感謝しています。連絡ノートで詳しくびっしり書いて下さいます。毎日、その日の様子を教えてくれ、先生とも色々お話ができ助かっています。」のほか、「忙しそうで、あまり話す機会はありません。若い保育士さんが多く、あまり相談したりする気にならない。」という記述がありました。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	57	6	0	0
<p>回答は、「はい」が57人(91%)と非常に多く、「どちらともいえない」が6人(10%)でした。自由意見には、「毎朝そうじをしていらっしゃり、入口や部屋は大変きれいです。」のほか、「頑張ってはいますが、やはり人員不足の場合はあるかと思えます。」などの記述がありました。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	58	3	2	0
<p>回答は、「はい」が58人(92%)と非常に多く、「どちらともいえない」が3人(9%)、「いいえ」が2人(3%)でした。自由意見には、「みなさん丁寧な言葉遣いをされます。いつもしっかり声掛けしてもらっています。」のほか、「先生にもよります。」という記述がありました。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	55	5	2	1
<p>回答は、「はい」が55人(87%)と多く、「どちらともいえない」が5人(8%)、「いいえ」が2人(3%)、非該当が1人でした。自由意見には、「仕事をしているので、少しの熱では少し様子を見て頂け、看護師さんには感謝しています。急なケガの時は病院まで連れて行って頂きました。発熱時はそばにいてよく面倒を見てくれていたと思います。」のほか、「すぐに病院に行くと言われる、何でもないことも多い。」という記述がありました。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	41	16	3	3
<p>回答は、「はい」が41人(65%)、「どちらともいえない」が16(25%)、「いいえ」と非該当がそれぞれ3人(5%)でした。自由意見には、「きちんと報告して頂けるので、信頼しています。今のところ問題ありません。」のほか、「トラブルの報告を受けたことはない(有無がわからない)。嫌な事があった時など先生からは話がなくて本人から何かきくまでわからない。先生が知らないことが多い。もっと気軽に相談できる窓口が欲しい。」などの記述がありました。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	55	8	0	0
<p>回答は、「はい」が55人(87%)と多く、「どちらともいえない」が8人(13%)でした。自由意見には、「ほとんどの場合は対応して頂いていると思っていますが、やはり人員的に一人にばかり構ってられない時もあるので…。職員によって異なります。」などの記載がありました。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	55	2	1	5
<p>回答は、「はい」が55人(87%)と多く、「どちらともいえない」が2人(3%)、「いいえ」が1人、非該当が5人(2%)でした。自由意見はありませんでした。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	48	10	5	0
<p>回答は、「はい」が48人(76%)、「どちらともいえない」が10人(16%)、「いいえ」が5人(8%)でした。自由意見には、「年間あるいは6年間を通しての流れは先に教えておいてもらえると準備もスムーズです。あまり説明はない、上のクラスに上がり職員と話す機会が減りました。説明は不足していると感じる。」という記述がありました。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	43	11	3	6
<p>回答は、「はい」が43人(68%)、「どちらともいえない」が11人(18%)、「いいえ」が3人(5%)、非該当は6人(10%)でした。自由意見には、「とことん話を聞いてくれ、かつ翌朝からすぐ行動にうつして頂いています」のほか、「きちんと対応はしてくれていると思いますが、ピントがはずれていたり、職員によってムラがあると思います。特に不満や要望を伝えた事が無い。」などの記述がありました。</p>				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	19	13	9	22
<p>回答は、「はい」が19人(32%、非該当を除くと46%)と少なく、「どちらともいえない」が13人(21%)、「いいえ」が9人(14%)、非該当が22人(35%)でした。自由意見には、「個別ではないですが、ファイル(補注)にあったかと思いますが。どういうレベルの事を役所に伝え、どういうレベルの事が第三者委員に伝えればいいのかかわからない。」などの記述がありました。補注:「生活の手引き」(重要事項説明書)</p>				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <div style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</div>	
	評価	標準項目
	● あり ○ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○ 非該当
	● あり ○ なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○ 非該当
	● あり ○ なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○ 非該当
	● あり ○ なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○ 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <div style="text-align: right;">評点(〇〇)</div>	
	評価	標準項目
	● あり ○ なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○ 非該当
	● あり ○ なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○ 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <div style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</div>	
	評価	標準項目
	● あり ○ なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている ○ 非該当
	● あり ○ なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○ 非該当
	● あり ○ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく ○ 非該当

カテゴリー1の講評

保育理念及び保育方針など多様な媒体で周知に取り組んでいます

運営法人(以下、「本部」という)が保育理念として「すべての人が心ゆたかに生きることを願い今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します」を掲げ、3項目の保育方針、4項目の保育目標を明確にしています。保護者には、園内に掲示するとともに、見学時に手渡すパンフレットで説明し、また、入園説明会で「生活の手引き」(重要事項説明書)を使って理解を求めています。職員には、研修時や職員会議で理解を深めています。これらの理念及び方針は本部のホームページに載せ、利用希望者など人が閲覧できるようにしています。

毎日のように開催する打ち合わせを通じてリーダーシップの発揮に取り組んでいます

週4回の昼打ち合わせ、月1回の職員会議で、保育園が取り組むテーマや課題を話し合い、確認しています。こうした会合に出席できなかった職員には出席職員が伝えとともに、議事録を作成し、職員全員が確認することとしています。このため、議事録に確認欄を設け、チェックを入れます。各クラスが1～3階に分散していることや職員の勤務時間帯がそれぞれ異なることから、職員とのコミュニケーションの強化にこれまでに増して積極的に取り組むことが期待されます。

必要な連絡事項は会議や文書で通知し周知しています

重要事項は昼打ち合わせや職員会議で検討のうえ決定し、出席しなかった職員には出席した職員が連絡しています。また、出勤時に議事録などを確認し、漏れが生じないようにしています。保護者には、年度初に年間行事など保護者に参加してほしいスケジュールを知らせています。毎月園だよりを発行し、当月の行事や通知事項を周知しています。必要に応じて「お便り」を作成し、保護者に承知しておいてほしいことを伝えています。

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

保育に従事する者が守るべき法令・規範・倫理を明確にし、遵守を意識づけしています

園長をはじめ職員全員が遵守すべき法令・規範・倫理などを定め、本部の「コンプライアンスコード」や「運営ガイドライン」に記載しています。職員は、本部が作成したDVDを視聴したり、文章化したものを読み合わせしています。職員全員が視聴したことを確認し、本部へ報告しています。会議時などに適宜読み合わせを行い、理解を深めています。職員には入社時に守秘義務に関する誓約書を提出させ、遵守を意識づけしています。

地域に根差す保育園を目指し関係の強化に取り組んでいます

見学で来園する子育て中の人を快く受け入れています。園外活動でも近くの老人介護施設と交流したり、近隣の消防署見学を行うなど地域との交流を深めています。地域の祭礼への参加や自治会との関係構築などを検討しており地域社会とのつながりを強めようとしています。品川区のホームページに保育園の紹介をしています。近隣の中学生の夏季休暇の課題である職場体験の受け入れをしています。本部から絵本読み聞かせのボランティアを受け入れました。

地域のネットワークに参加して情報共有と連携強化に努めています

毎月品川区が開催する保育園長会に参加して情報共有や収集に努めています。また、園長会終了後に開催されるブロック園長会では情報交換に加え、園長同士の交流に努め、例えば小学校施設の利用について話し合い協調しています。毎月、区の保育担当部署に保育園の空き状況を報告し、欠員などの情報を共有しています。区主催の行事「フェスタ」などに参加しています。近隣の区立保育園の協力が得られ、園庭やプールを利用して保育を行っています。

カテゴリ-3		
3	利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>保護者の意見や要望に迅速に対応し、解決に取り組んでいます</p> <p>苦情解決の仕組みを、入園時に配付する「生活の手引き」(重要事項説明書)に記載し、受付窓口や第三者委員を明示しています。玄関に意見箱を設置し、また、第三者委員と苦情解決フローチャートを閲覧できるように掲示しています。保護者から連絡帳や口頭で意見や要望を伝えられることがあり、受けつけた職員はその内容を園長や主任に報告するとともに、職員間で共有します。内容によって、会議などで話し合い、迅速な解決に取り組めます。また、必要に応じて本部へ報告し、迅速に解決に取り組めます。</p> <p>保護者の意見や要望を受け止め検討し、保育や保育園の運営に生かしています</p> <p>年度初に、クラスごとに保護者会を開催し、その場でアンケートを行って保育園に対する意見や質問・相談を集約しています。保護者参加の行事では終了後にアンケートを行い、寄せられた意見や要望は次回の行事企画に反映していきます。年2回、運営委員会を開催し、クラスごとの保護者代表が参加して意見や要望を発言しています。これに対し、対応の可否を検討し、応えられることは運営に取り入れていきます。登降園時の会話や連絡帳で寄せられる要望や意見も検討し対応に努めています。</p> <p>地域や行政の情報を入手し、保育園の運営に活用しています</p> <p>区の園長会に参加し、自治体の保育に関する施策の動向や地域の保育ニーズに関する情報を入手して保育園の運営に活用しています。区園長会の後に地区別の会合があり、意見交換と併せて、地区内の情報を入手しています。本部傘下の保育園(以下、系列園という)の園長会やブロック別園長会において、本部が入手した行政情報をはじめ、保育事故や事件などの情報を伝え、保育園の運営に活用するように指示しています。園長はこうした情報を職員会議や昼打ち合わせの場で職員に伝え、情報共有しています。</p>		

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況 **4/4**

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-4の講評

取り組み期間に応じた課題・計画を策定しています

保育理念の実現を目指す中期計画(期間2017年～2019年)を策定し園内に掲示しています。年間計画として事業計画書を作成し、保育園の運営方針、概要、保育体制、年間行事予定を定めています。保育体制では、保育課程のほか各種年間計画の策定、職員会議、職員研修、実習生の受け入れの項目で実施内容を定めています。前年度末にクラス担任など職員体制を定め、各種実行計画を作成しています。避難訓練計画や個別行事計画は担当者が園長・主任と相談して立案し、昼打ち合わせなどで検討して決定し、実行する手順を踏んでいます。

担当者が実行計画を立案し、目標達成のため、進捗管理を行っています

年度計画を踏まえ、例えば、実行計画の一つである個別行事計画は担当者が園長や主任と相談しながら前年度の結果や保護者アンケートの内容を踏まえて立案し、昼打ち合わせや職員会議で話し合っ役割分担を決め、軸に取り組めます。本年度は園長と主任が交代したことから入念に打ち合わせを行い、職員全員の意思統一を図って目標の達成に取り組めました。園内に行事分担表を掲示し、役割意識を高めるとともに、昼打ち合わせなどで進捗状況を把握するなど計画が円滑に進捗するように管理しています。

職員間の情報共有で安全対策に取り組んでいます

火災や災害などに備えて避難訓練計画を策定し、計画に沿って毎月実施しています。不審者防犯訓練や引き渡し訓練を実施し、不測の事態に備えています。感染症発生情報や「ヒヤリ」に関する危険情報、不審者情報など区の情報をもとに園内に掲示して保護者へ通知し注意を喚起するとともに、職員間で情報共有し予め作成した対策を実行しています。例えば、園内で感染症が発症した場合、保護者に対する情報提供と園内消毒などの対策を実施しています。事故やヒヤリハット事例は記録し、昼うち合わせなどで情報共有して再発防止に取り組んでいます。

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○ 非該当

カテゴリー5の講評

職員個々の意向を踏まえつつレベルアップに取り組んでいます

職員は「期待役割シート」(人事制度上の書類)に、職務への取り組み、キャリア開発プログラム、研修希望を記載し、園長はこれをもとに職員と期待役割面接を行い、目標を把握しています。職員の次年度の職務に関する希望も重要事項として把握しています。職員との面接や「自己評価チェックシート」で保育の能力レベルや希望を確認し、職員の知識や保育力の向上に取り組んでいます。本部のキャリア研修や社外研修に、勤務シフトを調整するなど受講環境を整えています。研修参加者は報告書を作成、回覧や報告を行い、研修内容の共有を図っています。

職員会議の工夫や対話の増加で、組織力や職員一人一人の能力向上が期待されます

週4回昼打ち合わせを行い、各クラスから職員1人が出席しています。出席者はクラスリーダーに限定せず、日常のクラスの状況を把握し報告します。昼打ち合わせの結果をクラスに持ち帰り、報告しています。打ち合わせなどを頻回に行っていますが、管理者層と職員の意思疎通が十分とは言えない状況もうかがえます。双方の対話を活発化し、組織の力や職員一人一人の能力を引き上げるため、職員会議の持ち方や会議内容の伝え方などに検討の余地がないかさらなる取り組みが期待されます。

職員のやる気向上や定着を促す方策に取り組んでいます

本部の人事制度に基づき「期待役割シート」や次年度の意向調査の結果をもとに、園長が職員と面談し、また、コミュニケーションの強化を図り、職員との目標の共有を目指して取り組んでいます。年度初めは対話の機会も十分でなく、職員一人一人との目標の共有に時間がかかっていました。行事での達成感の共有や終了後の慰労会などを重ねる中で徐々に目標の共有が進みつつあり、今後、職員のやる気が高まることが期待されています。福利厚生面で、本部の持株会への投資が選択枝に加わるなど職員の定着を促す支援策が導入されています。

カテゴリ-8

8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリ-1で評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者から信頼される保育園を目指しています

①前年度の取り組みを継承しつつ、子どもが安心して喜んで通園することを基本に保育に取り組んでいます。
 ②行事や保育について、昼打ち合わせや職員会議で職員の意見を聞き、保育園が目指す方向に沿っていることを確認して意思決定を行っています。事業計画に織り込んだ取り組みは、前年度を超えた成果を生むまでは至っていないと見られます。

サブカテゴリ-2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリ-1で評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

職員同士の対話が進み課題の共有と改善への取り組みができてきました

職員同士のコミュニケーションがよくなり、他クラスの状況にも関心が向かうようになっていきます。昨年まで乳児クラスと幼児クラスの連携が不十分という課題がありましたが、リーダー同士の連携が進み、改善に取り組んだ成果ができています。

サブカテゴリ-3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリ-1で評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

情報の共有が前進しています

①保育指導計画に保育目標を設定し、4学期ごとに振り返り(自己評価)、達成状況を確認しています。今回の利用者(保護者)調査の結果にも、問1「活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」及び問2「活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっていくか」に対し「はい」と答えた保護者が95%を越え、保育園の活動を評価していることがうかがえました。
 ②職員全員が、本部が定めたコンプライアンス・コードを学び、コンプライアンス(法令の遵守)の意識が向上しました。
 ③職員同士が、感染症の発症、予防やまん延防止対策について情報共有を図るため打ち合わせを行うなど情報の伝達・流れが速く、共有が前進しています。

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

コストパフォーマンスを意識した食材購入に取り組んでいます

食材の購入に当たり、質と量、価格を検討し、より安価で栄養価が高くバランスが取れた食材の確保に取り組んでいます。本部もコストを引き下げるために取り組み、職員のコスト意識に良い影響を与えています。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者との関係が良好な状態へ前進しています

従来から行事後などに保護者にアンケートを行い、意見や要望を聞いています。本年度初、保護者とのコミュニケーションが十分とれていない状況がありました。子どもの登降園時に保護者へ積極的に声かけをして対話の機会を作るように心がけてきました。また、事務室のドアをオープンにし、保護者から気軽に声かけしてもらえるように取り組んでいます。こうした取り組みから、保護者との関係が良好な状態へ前進していると見られます。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している <input type="radio"/> 非該当
	サブカテゴリ1の講評	
	<p>ホームページをはじめ保育園の情報を利用希望者に提供しています</p> <p>本部がホームページに各保育園の情報を掲載しています。保育園のページには「園について」と題し、基本情報のほか「保育理念・保育方針・保育目標(目指す子どもの姿)・ココファン・ナーサリーの取り組み」など、利用希望者に必要な情報を掲載しています。また、コンパクトなパンフレット(A4版、カラー・両面印刷、三つ折り)には、基本情報に加えて、申込要件、一日の流れ、主な年間の行事予定なども記載し、子どもの保育園での生活を具体的にイメージすることができるように工夫しています。</p> <p>閲覧用ファイルで、保護者向けの書類を手にとって読むことができます</p> <p>保育園を訪問した利用希望者は、玄関ホールに備え付けられた閲覧用ファイルを見ることができます。保護者向けの文書、例えば運営規程や事業計画書、「生活の手引き」(重要事項説明書)などを手にとって読むことができるように展示用ファイルに入れてあります。また、品川区の保育園情報サイトで様々な情報にアクセスできるなかで、「保育園のご案内」のページに保育園が紹介されています。同ページから「保育園のご案内」(リーフレット版)をダウンロードすることができますが、そのなかにも保育園が記載されています。</p> <p>利用希望者に見学を受け入れ、保育園の生活を理解してもらえるように工夫しています</p> <p>日常の保育の様子や環境などを見られるように平日(水曜日)の午前を見学日とし、入園希望者を受け付けて案内し説明を行っています。子どもの生活に影響が及ばないように見学者は1回あたり4.5人までとし、見学予定表を作成して対応しています。見学時には、パンフレットで申込要件をはじめ、一日の流れや主な行事などを紹介し、保育園の生活を具体的にイメージして理解してもらえるように丁寧に説明しています。併せて、見学者の質問に答えたり相談に応じたりしています。</p>	
	サブカテゴリ2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	評点(〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している <input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2の講評

入園説明会において「生活の手引き」を説明し、同意を得ています

新入園児の保護者には説明会を開催し、「生活の手引き」(重要事項説明書)に沿って、生活上の基本ルールその他の重要事項を説明します。説明会后、個別面談を行い、事前に記入してもらった入園時提出書類(新入園児質問票、児童票及び健康調査票、入園までの生活状況、記入連絡票、災害時連絡カード、食材進捗確認表、食物アレルギー確認書など)を受け取り、内容を確認しながら子どもや家庭の事情、意向を聞き、記録します。併せて、「生活の手引き」に対する同意書を提出してもらっています。当日不参加の保護者には別の日を設けています。

子どもの生活上配慮すべき事項を把握し、職員で共有しています

保護者から提出された書類や聞き取った内容の記録は個別ファイルや目的別ファイルに綴じて保管しています。ファイルは、職員全員が共有できるように所定の場所に保管しています。文書や記録を更新した時は、職員会議で周知します。入園当初の子どもと保護者の不安やストレスを緩和・軽減するために慣れ保育を実施しています。入園前に「慣らし保育」について保護者の意向を聞き、その内容に沿って実施しています。また、食物アレルギー確認書のほか、保育所におけるアレルギー疾患に関する書類も送付し、不安の解消に努めています。

保護者とは細やかにコミュニケーションを取るように注意を払っています

途中で退園する子どもや卒園を迎える子どもやその保護者の不安や軽減・緩和を図るため、細やかなコミュニケーションを取るように努めています。例えば、気軽に来園できるような声かけ、行事を知らせる手紙の発送など保育園とのつながりを大切にしていることを伝えています。保護者の必要に応じて個別面談で対応しています。小学校との接続に注意を払い、地域の幼少保連携ネットワークに参加して各種の情報を入手し、担当職員と情報共有して子どもの保育に活用しています。

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録 サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 **12/12**

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇)
---	--	-----------------

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
---	--	---------------

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
---	--	---------------

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー3の講評

閲覧用ファイルで、保護者向けの書類を手にとって読むことができます

入園時、新入園時質問票をはじめ事前提出書類で子どもや保護者の状況を把握し、それらの記録は個別または目的別ファイルに管理しています。入園後は、日常の保育の振り返りをはじめ、定期的な身体測定、健康診断・歯科検診、アレルギー面談など子どもの発達や状況の変化を把握し、園日誌や保育日誌、経過記録など所定の様式に記録しています。これらの記録をもとに子ども一人一人のニーズや課題を把握し、指導計画に反映しています。

保育課程をもとに指導計画を作成し、保育を実践して自己評価を行っています

保育課程は、毎年度本部が掲げる保育理念をもとに子どもの状況などを考慮して素案を作り、職員会議で検討し作成します。0～2歳児及び障害のある子どもには個別指導計画を、また、3～5歳児には子どもの発達状況を踏まえて指導計画を作成します。指導計画は、週・月・年間単位で作成し、それぞれの期間の終わりに評価を行い、子どもの発達や状況の変化によって適宜見直しを行っています。保護者には、個人面談の際に現状や今後の目標などを伝え意向を確認していますが、保育課程や指導計画の周知・説明に改善の余地があり、検討が期待されます。

個人別・目的別ファイルを作成し、子どもの記録を分類・整理して保管・共有しています

指導計画や児童票をはじめ経過記録などを統一した様式(用紙)で作成・記録しています。作成・記録した文書や記録類は個人別や目的別に分類・整理し、個人ファイルなど個別ファイルに保管しています。ファイルは職員全員がいつでも読むことができるように事務室の書庫に管理しています。開園して5年を迎え、この間に作成・記録した文書・記録は相当量になっていると見られ、今後も増加し続けるだけに有効な管理方法やルールを検討することが期待されます。

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p>子どものプライバシー保護、羞恥心への配慮を徹底しています 入園時保護者に配付する「生活の手引き」に、「個人情報保護方針・プライバシーポリシー、行事等におけるビデオ・写真等の記録の管理、HP掲載のブログの管理について」を記載しています。「個人情報の取扱いに関する同意書」を説明し、署名捺印を得ています。日常の保育環境でトイレに扉や仕切りを取りつけているほか、夏季のプール遊びの着脱に可動式間仕切りを設置し、シャワー室を使用するなど子どものプライバシー保護や羞恥心に配慮しています。</p> <p>保護者や子どもの思いを受けとめ、寄り添う保育・見守る保育を心がけています 本年度の保育課程に記載した保育方針に、「子ども主体の心と体の育ちの支援」「一人ひとりの認知・発達に応じた個別の発達支援」を掲げています。この保育課程に沿って指導計画を作成し、保育の実施に努めています。入園時の面談や提出書類、また、日常の関わりから伝わってくる保護者や子供の思いを受け止めるとともに、一人一人の子どものを把握し、それぞれに合った配慮のもとに寄り添う保育・見守る保育を実践しています。また、「生活の手引き」には、「虐待の禁止」の項を設け、保育園の姿勢を明確にしています。</p> <p>虐待防止に関する研修で必要な知識や対応方法などを学び、備えています 園内において虐待防止に関する研修を実施する一方、外部の研修にも参加しています。外部研修を受講した職員はその研修内容を職員会議などの場で報告し、共有に努めています。日々保護者や子どもに声かけし、表情や動作を観察しています。何らかの異常に気づいた時はクラス担任から園長・主任・看護師へ報告し、記録を残すとともに可能であれば写真などを撮っておきます。職員の言動などの気にかかることを含め職員会議などで報告し、共有することも決めています。関係機関のネットワークにも参加し、必要な知識や対応方法を学び、備えています。</p>		

サブカテゴリ-6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

11/11

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ6の講評

「生活の手引き」に基本事項やルールを明記し、マニュアルとして活用しています

入園時、保護者に配付している「生活の手引き」(重要事項説明書)には、目次を付け、保育園の基本事項やルール、提出書類など(26項目)を記載しています。これを毎年職員に配付し、新入職員には入社時に説明し、わからない時や迷った時に確認することを勧めています。また、事故防止・対応マニュアルその他のマニュアル(17種類)を揃えています。本部は「運営ガイドライン」(全体で17分類)を2017年2月から順次配付しています。こうした手引きやマニュアル、ガイドラインを利用しやすいように整理することが期待されます。

毎年度「生活の手引き」を見直し、最新情報を取り入れて更新しています

「生活の手引き」(重要事項説明書)は、毎年新入園児を迎える準備の一環で内容を見直しています。特に、健康や安全、衛生面については最新情報に基づいて更新しています。また、意見箱や運営委員会、職員の意見や提案、子どもの状況などを反映するように取り組み、近年の事例では、保育室の環境整備について見直しました。

保育活動について話し合い情報共有を図りながら保育水準の確保に取り組んでいます

毎週4回打ち合せ会議で日常の保育活動について話し合い、情報共有を図りながら保育水準の確保に取り組んでいます。経験などに応じた園内研修のほか、本部研修や外部研修の報告を学び、共有しています。防災・避難訓練、散歩マップの活用、子どもの人数確認、防犯訓練、安全・安心な教材・教具の採用など子どもの安全性に配慮した支援に努めています。経験の浅い職員に対する指導・助言は、園長・主任・乳幼児リーダーが担当し、質問や疑問を相談しやすい関係作りに気を配っています。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		35 / 35	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○ 非該当
● あり ○ なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○ 非該当
● あり ○ なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○ 非該当
● あり ○ なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○ 非該当
評価項目1の講評			
<p>自ら選択できる遊びの環境設定を大切に、様々な工夫を取り入れています</p> <p>新しく入園した子どもは、入園時に保護者から提出された書類や個別面談で確認した記録をもとにその姿を把握し、ニーズや課題を引き出します。進級した子どもは、指導計画の振り返り・評価、健康診断の結果などをもとに発達状態を把握します。これらの情報を踏まえ、指導計画を作成し、それぞれの子どもに保育を行っています。子どもが自ら選択できる遊びの環境設定を大切にするとともに、片付けやすい環境を設定し、様々な工夫を取り入れています。職員は、子どもの主体性を尊重した声かけを心がけています。</p> <p>設定保育と自由な遊びを組み合わせ、保育を実践しています</p> <p>保育は、設定保育と自由な遊びを組み合わせ実施しています。また、合同保育や異年齢保育を取り入れ、子どもの生活に変化を与えています。食物アレルギーを持つ子どもの安全に取り組み、また、文化や習慣の異なる子どもへの理解を深め、保育に反映することに努めています。特別な配慮が必要な子どもに対する支援や配慮について、職員研修や事例研究に取り組んでいます。子どもの特徴や配慮事項を把握のうえ個別指導計画を作成し、区の児童発達支援センターや保護者と連携しながら保育を進めています。</p> <p>子ども同士のトラブルには、子どもの気持ちに寄り添うことを第一にしています</p> <p>発達過程で生じる子ども同士のトラブルには、子どもの気持ちに寄り添うことを第一に傾聴と受容に努めています。家庭環境などの状況を把握し、保護者との連携を大切にしています。職員会議などで把握している子どもの状況を共有し、担当職員に必要なに応じて指導・助言を行っています。小学校への接続を考慮し、年長児は毎年1～2月ごろ、小学校を近隣の保育園の子どもとともに訪問し、先生の話の聞いたり校舎を見学したりする機会を設けています。卒園児には入学する小学校へ保育要録を提供するほか、電話での問い合わせにも応えています。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○ 非該当
● あり ○ なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○ 非該当
● あり ○ なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○ 非該当

評価項目2の講評

送迎時の対話や連絡帳を通して家庭での状況を把握し生活の連続性に配慮しています

登園時には保育園での生活が家庭と連続するように保護者との連携に努めています。連絡帳や保護者との会話により家庭での睡眠や食事などの様子を把握し、挨拶、顔色、機嫌などを観察し、登降園チェック表に記入しています。看護師が園内を回って子どもの状況を観察し、必要に応じて対応します。担任は子どもの状況に目を配りながら保育を行っています。降園時にはその日の子どもの様子や活動を連絡帳に記入し保護者へ伝えています。体調不良や気になった様子は、昼打ち合わせで報告し、降園時に担任又は担当職員から保護者に伝えています。

食事や排せつなど生活習慣の習得は子どもの気持ちを大切に無理なく進めています

食事や排せつなど基本的な生活習慣を身につけるため、子どもの気持ちや主体性を大切に、無理なく進めています。一人一人の食事や排せつなどの状況を把握し、子どもに応じた適切な援助心がけています。1歳児の着替えでは自分でシャツを脱ぎ、職員の声かけで脱いだシャツをたたむ子どもやズボンを途中で上げて職員に手伝ってもらう子どもなど、一人一人の動きや気持ちに応じて援助している姿が見られました。排せつが進まない子どもには絵本や人形が排せつする教材を活用して排せつの気持ちが高まるように援助しています。

SIDS対策として、午睡の姿が見渡せる位置に座り、5分間隔で呼吸を確認しています

保育園の生活時間は長く、子どもがリラックスして好きなことをしたり、休息する時間を持てるように配慮しています。午睡時はカーテンを引き、安らげる暗さを作ったり、一人一人の寝方を把握し、身体をさすったり、トントンしたりしています。SIDS対策として、職員は午睡の姿が見渡せる位置に座り、5分間隔で呼吸を確認しています。幼児の眠くない子どもは、別室で絵本を読んで過ごすなど子どもの生活リズムを大切にしています。5歳児は夏過ぎには体調や体力に合わせて寝る時間を調整し、絵本や制作、ワークなど静かに過ごす時間にしています。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○ 非該当
● あり ○ なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○ 非該当

評価項目3の講評

室内と戸外のバランスなどを考慮した計画や環境設定で子どもの自発性を育てています

「心も体も自立した子、自律した行動のとれる子」という保育目標を掲げ、室内と戸外のバランスや午前と午後など時間配分を考慮した指導計画を作成しています。日常の保育では、自主性を育むように言葉かけに気を配り、子どもの意思を大切にしています。保育室を書棚や衝立で仕切り、ままごと・ブロック・電車レールなど子どもが好きなところで集中して遊び込める空間を設定しています。玩具や道具のケースには写真を張り、子どもが気付き、自分で取り出せるように工夫するなど、子どもの自発性を育む環境や計画を工夫しています。

子どもが自ら選択し喜び楽しめる表現活動に取り組んでいます

幼児が言葉に対する感覚を養う上で大切なこととして、職員の正しい言葉遣いを挙げています。遊びや生活の中で職員が発する一つの言葉から物の名前や言い回し、感情表現などを自然に真似をし、学んでいます。また、ゲームや絵本などの教材から正しい表現を学んだり言葉に触れる機会を持っています。制作活動では、子どもの発想を大切に、自由にのびのびと表現ができるように援助しています。運動会では、自分の得意な縄跳びや鉄棒を披露し、お楽しみ会では、劇中の役割を自分で選択するなど子どもが喜び楽しめる表現活動を工夫しています。

順番や決まりを守ること、他人を思いやり自分本位にならない自律性を学んでいます

3、4歳から友だちを求めることが積極的になることを考慮し、友だちとの遊びや関わりの中で社会性や自律性を身につけるように援助しています。戸外活動で、鬼ごっこや縄跳び、滑り台などで数人がグループになって遊んでいます。そうした遊びの中で順番や決まりを守ること、他人を思いやったり、自分本位にならない自律性を学んでいます。給食や掃除、絵本の貸し出しなどの当番活動や手伝いを通して、役割や存在の意味を実感できるように援助しています。互いに触れ合うなかでそれぞれの良いところを見つけ、認め合う経験を重ねています。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○ 非該当

評価項目4の講評

七夕や祭りなど日本の伝統文化の行事を行い、子どもの生活を豊かにしています

毎月の誕生日会のほか、ひな祭りや端午の節句、七夕など日本の伝統文化に因む行事を行い、子どもの生活を豊かにしています。お月見では団子づくり、夏のお楽しみ会では神輿を作って園内を練り歩き、年長児が売り子となった縁日では乳・幼児が買い物を楽しみました。運動会ではかけっこやソーラン節を踊り、自分のやりたい得意な鉄棒や跳び箱などで一人一人が演技しました。行事は子どもの生活に潤いと変化を与えますが、負担にならないように日常の保育の延長線上に位置づけ、子どもが興味をもって意欲的に取り組める内容を工夫しています。

かき氷やゲームなどの作品を縁日で売り、制作した神輿で祭りを楽しみました

行事やイベントは、クラスや子どもの成長や発達に合わせて日常の遊びや活動の中から子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組もうとするものを取り上げています。夏のお楽しみ会では5歳児を中心に神輿を作り、園内を練り歩きました。かき氷やドーナツなどの縁日に売る作品を作り、乳児も一緒に買い物を楽しむなど、協力してやり遂げた喜びを味わいました。冬のお楽しみ会では4歳児はピーターパン、5歳児は浦島太郎の劇に向けてそれぞれが好きな役を選び、役作りを自分たちで考えています。行事を通して子どもの自発性・自主性を育てています。

保護者会や園だより、行事アンケートを通して保護者から行事に対する理解を得ています

保護者会や園だよりなどで行事のねらいや目的を説明し、保護者の協力を得て連携しながら子どもを育てることを伝えています。園だよりでは、毎月の予定や行事の写真、日常の保育や行事に取り組む子どもの姿を保護者へ伝え、準備のための「お願い」を掲載しています。毎日の活動を「今日の活動」や連絡帳で伝え、子どもの成長をともに理解し、喜び合っています。保護者アンケートの結果には、祖父母会に参加した祖母が子どもからプレゼントを贈られ、壁に貼って大喜びしているという記述が見られました。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○ 非該当

評価項目5の講評

延長保育では、くつろげる環境で好きな遊びを自由にできるように計画しています

夕方の延長保育で、子どもがくつろぎ、安心して過ごせる環境を意識して設定しています。長時間、保育園で過ごす子どものために、好きな遊びを見つけてゆったりとした気分で行きたいことをできるように配慮しています。いつも職員が傍らにいて、日中ではできない制作や折り紙、ゲームなどの遊びにじっくり関わられるように変化を意識した保育を行っています。布団やクッションを置いて、ゆったり過ごせる空間を設定しています。日中とは異なった環境で、好きなおもちゃを使い異年齢同士で遊ぶなど、自由に選択できる環境を用意しています。

異年齢のこどもに合同保育を行い、日中とは異なる環境で成長しています

早朝と夕方の遅い時間は縦割り保育…乳児と幼児の異年齢の子どもに合同保育を実施し、異なる年齢の子どもが交わって遊んでいます。こうした異年齢の子ども同士が関わるなかで、職員は特に安全性に配慮し、危険がなく楽しく過ごせるように声かけに努めています。合同での遊びや活動の中から、大きな子は小さな子に対し優しく接するように思いやりの心を育み、小さな子は大きな子にあこがれ真似をしながら成長しています。また、年長児は年少児の世話をすることが楽しみとなって積極的にかかわり、お兄さん役やお姉さん役を務めています。

降園時、保護者へ連絡帳を手渡ししながら一日の活動や子どもの様子を伝えています

1日の子どもの活動や生活状況、連絡事項を連絡帳に記入して保護者に伝えています。シフト制の勤務体制のもとで朝夕の担当職員が変わっても同じように対応できる引き継ぎ体制を整えています。降園時、クラス担任または遅番担当職員が、連絡事項に加えて、日中楽しんでた様子やエピソードを交えながらその日の子どもの姿を伝えています。また、その日の活動をクラスごとに「今日の保育」としてボードにわかりやすく掲示しています。玄関に絵本や保護者向けの本を並べた図書ラックを置き、絵本や図書は1週間ずつ貸し出しを受けることができます。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○ 非該当

評価項目6の講評

子どもが食事を楽しめるよう環境づくりや食事内容を工夫しています

保育室を午睡用と食事用の空間に分けています。0・1歳児は食事用エプロンを着け、職員がつき添って食事を摂っています。2・3歳児は、友達と顔を合わせながら楽しく食べられるように机を整え、ナプキンを置き、エプロンにかえた職員が、食が進むように声かけしながら援助しています。4・5歳児は当番の子どもが配膳や挨拶を行い、職員も一緒に食事をしながら会話を楽しんでいます。栄養士が各クラスを回り、声かけしながら子どもの喫食状況を観察したり、介助に加わったり、子どもの食に対する好みや食べ易さ、器の形状などを見定めています。

食材は刻み方や量、硬さを考慮し、味付けは薄味にし、彩豊かに盛り付けています

毎月献立予定表を作成し、食事とおやつメニューのほか、炭水化物・タンパク質・ビタミンと食材を分け、栄養価を記載しています。離乳食の段階を4期に分け、献立名や主な食材、栄養価を記載しています。季節に合った旬の食材を近隣の商店から購入しています。子どもが好き嫌いをなくすように刻み方や量、硬さなどを考慮し、味付けは薄味に、彩豊かに形は小さく、盛り付けを工夫し、おやつも手作りにしています。誕生会や子どもの日、七夕など行事の日には、行事食や特別なおやつを提供しています。

食物アレルギーへ適切に対応し、誤食の無い状況を維持・継続しています

食物アレルギーを持つ子どもには、毎月1回、栄養士と担任が保護者と面談し、子どもの状況を把握しています。食事時には専用トレーにアレルギー名を記載した食札を乗せ、食器の色を変えるなど誤食の予防に努めています。栄養士から担任へ手渡し、アレルギー名を読み上げ確認しています。訪問調査の日は、除去食で卵を抜いた擬製(ぎせい)豆腐を提供していました。食育年間計画の「季節の行事を楽しみ、自分たちで作ったものを食べる」というねらいに沿って、3～5歳児がお月見団子を手作りしおやつに食べ玄関に飾るなど食への関心を深めています。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○ 非該当

評価項目7の講評

感染症予防や危険防止を理解できるように日々子どもに働きかけています

日々の保育の中で、年齢や発達に応じて基本的な清潔を保つ習慣が身につくように指導しています。食事やおやつ前後、排泄後や戸外から帰ってきた時の手洗いうがい、石鹸やペーパータオルの使用を働きかけ、感染症予防に取り組んでいます。散歩では、出かける前の約束…道路の歩き方、信号の見方、横断歩道の渡り方を話し、事故防止につなげています。公園では、到着後怪我や安全につながる行動や身のまわりの危険について説明しています。こうした保育の実践を通して子どもが健康や安全に関心を持ち病気やケガに注意することを学んでいます。

幼児期の子どもの健康を維持するために保健計画を立て、実践しています

健康を維持するための目標に、外気を浴びること、体を動かすこと、体力づくりを挙げています。年間保健計画を4期に分けて立案し、保健行事、目標、活動の具体的内容を設定しています。1期は生活のリズムを整える、2期は暑さに負けない体を作る、3期は戸外遊びで体力づくり、4期ではケガに注意し室内遊びを楽しむとして、保育を行っています。ケガや体調の変化により医療的ケアが必要な時には、保護者へと連絡したうえで園医などに相談や受診をしています。アレルギーや喘息などの配慮が必要な場合は医師の診断書に基づき適切に援助します。

感染症や乳幼児突然死症候群の予防に努め、保護者に情報を提供しています

季節に応じて流行する感染症や子どもの健康に関することを、「お知らせ」や「保健だより」、掲示板で発信しています。感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)の予防について、入園説明会や保護者会などで説明し、取り組みを促しています。感染症情報は、区や本部、関係機関などから伝えられます。発症した場合は、速やかに玄関や各クラスに症状や発生状況などを掲示するほか、口頭でも伝え蔓延防止に努めています。午睡中、うつぶせ寝や顔の向きに注意し、呼吸は、0歳児は5分ごとに確認し、チェック表に記録しています。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○ 非該当

評価項目8の講評

保護者の就労状況に配慮し、個々の事情に応じた対応に努めています

入園面談で保護者の就労状況や通勤時間を把握し、保育時間とともに、慣れ保育や延長保育の実施を決定しています。急な保育時間の変更も柔軟に受け入れるなど個々の事情に配慮しています。延長保育では夕食や補食を充実させ、余裕があればお代わりも可能です。運動会や年末お楽しみ会、保護者会など保護者の参加型行事は、できる限り参加しやすいように年度初めに年間予定表を配付し、土曜日を中心に設定しています。子どものエプロンや手拭きの洗濯、おむつの処分などは保育園で行い、保護者の負担軽減に取り組んでいます。

保護者と職員、保護者同士が交流する機会を設け、親睦を深めています

年2回の保護者会をはじめ、保育参観、個別面談など保護者と職員、保護者同士が交流する機会を設けています。保護者同士が、運動会やお楽しみ会などを通して、保育園生活や子どもへの理解を深め、ともに子どもを育てる仲間としての意識を高めています。クラスの保護者会では、担任と保護者、保護者同士が意見を交換し合うなかで親睦を深めています。個人面談では職員が保護者と向き合い、困っていることについてアドバイスをするなど気持ちに寄り添って、子どもとともに育てる信頼関係を築くように心がけています。

保護者と共通認識を持って保育を行い、提案や意見を受け止め保育につなげています

登降園時の保護者とのやり取りや行事後のアンケートなどで保護者の意見や要望を聞くほか、クラス保護者会で保護者の考えや提案を聞く機会を設けています。保護者会では保育園の方針及び保育内容を説明し、保護者の理解と納得のもとに共通認識を持って、保育を行います。行事後にアンケートを実施し、多くの保護者から感想や意見が寄せられ、それらを次回の行事につなげています。年2回、保護者代表が出席する運営委員会を開催し、保育園の運営、行事や日常の保育状況などの報告と併せて、保護者をはじめ、出席者と意見交換を行っています。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○ 非該当

評価項目9の講評

巨大商業施設や自然豊かな公園など様々な地域の姿を体験しています

保育園は、最寄り駅から近い位置にあり、散歩コースに、児童公園をはじめ、駅に直結した巨大複合施設、フットサルコート、都市広場など11の公園などを指定しています。散歩先は、遊具や砂場、ボール遊び、走る、落ち葉拾いなど自然との触れ合いを深める遊びなどその日の活動目的に合わせて選んでいます。ガラス張りのエレベーターや幅広い鉄道線路を渡る歩道橋、華やかなクリスマスツリーを飾った施設などへの散歩では、清掃ボランティアや犬散歩の住民と出会い、フットサルコートでは他の保育園の子どもとも遊ぶなど、多様な体験を重ねています。

作品展で他の保育園と交流し、高齢者施設を訪ね親睦を深めています

区主催のアートフェスタへ参加するために他の保育園の子どもと一緒に歌を唄う練習を重ね、地域のイベントに参加しています。近隣の系列園や区立保育園のプールを借用し、夏はプール遊びを楽しんだりして、子ども同士が交流しています。また、フットサルコートでは、複数の保育園が利用し、互いに譲り合いながらかけっこや鬼ごっこを楽しんでいます。運動会は地域の小学校の体育館を借りて実施しています。地域の高齢者施設を訪問し、一緒に歌や手遊びゲームで交流を楽しんでいます。

花壇の手入れでは地域の方々との交流し、勤労感謝の日にはプレゼントを届けています

玄関先のプランターで、ナスやパプリカなどの野菜や小さな花を育てています。子どもが水やりをしたり、収穫を楽しむなど、食育に活用しています。この花壇を介して近隣住民と挨拶を交わし、種をもらったり、野菜作りを教えてもらったり、咲いた花を贈ったりしています。日常の散歩で行き交う人と声をかけ馴染みとなるなど職員以外の人とのふれ合いが生まれています。9月の祖父母会に祖父母が参加して大変喜んでいただくと声が終了後のアンケートに寄せられていました。勤労感謝の日は、日ごろお世話になっている警察署へ手作り作品を届けています。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	多くの絵本や独自のワークに触れる環境を整え、興味を深めるように取り組んでいます	
内容①	絵本に親しむ環境を整え、関心や興味を深めることを目的として、本部が毎月新しい絵本を提供し、絵本に親しむ活動を展開しています。各保育園の絵本担当職員が集り、それぞれ絵本の展示状況、活用方法、子どもや保護者の反応、課題や改良点を話し合い、活動に反映しています。乳児には毎月一冊の絵本を、幼児には本部が開発した独自のプログラムのワークをそれぞれ提供しています。乳児は職員と一緒に絵本を楽しみ、幼児は遊びながら楽しめるワークに興味を深めています。また、家庭に持ち帰り、親子で楽しめるように本部が配付しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるよう援助している
タイトル②	幼児期の子どもに向けて、体力の基礎作りを戸外遊びや室内遊びで取り組んでいます	
内容②	幼児期の健康を維持するために、外気を浴びること、体を動かすこと、体力づくりが重要と位置づけ、散歩や戸外での遊び、運動に力を入れています。散歩では、フットサルコートで活動前の体操をしっかり行い、体の機能を整え、かけっこやボール、遊具で思いっきり遊んでいました。入社前に体操系のサークル活動歴を持つ職員が中心になって、体づくりの基礎を検討し、実行しています。園内の保育室の広さを生かし、子どもは日常的にボールや縄跳びで遊び、特に5歳児はダブルタッチの縄跳びに連続して飛べるように練習を重ねています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	本の貸出しを子どもが手伝い、絵本を通して家庭での親子の触れ合いを豊かにしています	
内容③	玄関に本棚を設置し、「わくわく図書館」を運営しています。毎週水曜日、保護者や子どもに向けて、絵本をはじめ、大人向けの図書を貸し出しています。絵本を子どもと一緒に選び、楽しむことは、子どもとゆっくり関わり、親子のふれあいを深める機会になっています。保護者が子育てに迷う時や心を癒したい時などに子育てに関する本や物語などを保護者も借りることができます。こうした活動を5歳児が手伝っています。クラスに返却された本を集めたり、図書カードに確認印を押したり、本棚に戻すなど貸し出しの活動を手伝い、生活の幅を広げています。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	落ち着いて遊べるコーナーや発達に応じた玩具や遊具を備え、自主的に遊びや片づけができています
	内容	各保育室に、子どもが取り出しやすいようにおもちゃ棚を床から設置しています。おもちゃ箱には、収納しているおもちゃの写真や名前を前面に貼り、子どもが自分で取り出したり、片づけたりすることができるように工夫しています。コーナーに、マットや仕切り、小さな机を置いて、これらを使って落ち着いて自由に遊べる環境を設定しています。ままごとセットは各クラスの年齢に沿って数や機能が複雑なものを用意し、ブロックやゲームも乳児と幼児では大きさや形状が異なり、子どもの発達段階を考慮して設置しています。
2	タイトル	保育理念、保育方針、保育目標を明確にし、保護者の理解が得られるように努めています
	内容	本部は、保育理念に「すべての人が心ゆたかに生きることを願い今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します」を掲げ、保育方針、保育目標などを明確にしています。保護者には、園内に掲示するとともに、見学時に手渡すパンフレットに記載し説明しています。入園説明会において「生活の手引き」(重要事項説明書)を使って具体的に説明しています。毎月配付している園だよりでもねらいを取り上げ、理解を得るように努めています。保育理念や保育方針などは、広く多くの人々が見られるように本部のホームページに掲載しています。
3	タイトル	「生活の手引き」(重要事項説明書)に沿って、生活上の基本ルールなどの重要事項を説明しています
	内容	新入園児の保護者を対象に説明会を開催し、「生活の手引き」(重要事項説明書)に沿って、保育園の生活上の基本ルールその他の重要事項を説明します。この手引きには、目次を含め、保育園の基本事項や生活上のルール、提出書類などを26項目に分けて記載しています。説明会后、個別面談の際、この手引きに対する同意書を提出してもらっています。参加できなかった保護者には別の日を設けて手渡し、説明しています。「生活の手引き」は毎年度見直し、特に健康や安全、衛生面については最新情報に基づいて内容を更新しています
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保育課程及び指導計画を保護者にわかりやすく伝えていくことが期待されます
	内容	年1回の保護者懇談会や2回の運営委員会において、保育の目的や保育内容、子どもの様子を説明しています。また、園だよりや連絡帳でも日常の子どもの様子を伝えていきます。このように日々の保育の具体的な活動や子どもの様子について、話し合ったり、伝える機会は多いなかで、保育の基本である保育課程や保育がどのような目的をもって活動しているかサービスを展開しているかという情報は少ないように思われます。今後、保護者へ保育課程及び指導計画、これらに基づく保育のねらいや内容、評価を含む成果を伝えていくことが期待されます。
2	タイトル	今回の利用者(保護者)調査の結果をふまえた、さらなる取り組みが期待されます
	内容	今回の利用者(保護者)調査では、保育園に対する総合的な感想は「大変満足」が40%、「満足」が46%、計86%となりました。一方、個別質問17項目のうち、「どちらともいえない」という回答が25%を越えた項目が4項目[問6安全対策、問7行事の日程設定、問8相談できる信頼関係、問12子どものトラブルへの対応]あり、注目されました。「はい」とも「いいえ」とも言えない保護者は保育園の取り組みに対しどのように感じているのか、また、様々な意見・要望も見られました。こうした結果をふまえた、さらなる取り組みが期待されます。
3	タイトル	手引きやマニュアル類を利用しやすいよう整理する取り組みが期待されます
	内容	入園時保護者に配付している「生活の手引き」(重要事項説明書)には、目次をはじめ、保育園の基本事項やルール、提出書類などを26項目に分けて記載しています。この冊子を毎年度職員にも配付するとともに、新入職員には入職時に説明しています。わからない時や迷った時は、必ず読み直し確認することを勧めています。生活の手引きのほか、例えば子どもの虐待防止について「子ども虐待対応の手引き」(厚生労働省)を備えています。今後、これらの業務マニュアルをさらに利用しやすいよう分類・整理する取り組みが期待されます。